

# 須磨離宮公園 専門園改修提案書



一般社団法人神戸市造園協力会  
須磨離宮公園運営委員会

## 1. 改修の考え方

平成26年度より第2期の指定管理業務がスタートし、  
更なる魅力アップと見所充実による来園者の増加を目指して、以下に、この4年間に取り組むべき、さらにその後の先のあるべき姿を各専門エリア毎の課題と改善案を提示致します。

### 1-1 植物専門園全体としての課題 と来園客視点での問題提起



#### ■ 現状の主な課題と改善策

- 運営管理レベル向上＝来園者増化傾向も本園から植物園への流れに課題。  
→→→ 四季を通じた開花リレー・見所充実策が必要。
- 施設の老朽化、巨高木樹木の再生維持管理など、予算枠少による未着手。  
→→→ 優先順位を整理した計画的剪定計画の策定と実行。
- 来園者から見た、出入口である東門周辺、園路回遊時の連続性の欠如。  
→→→ 既設ローケーションの見直し・改善で新たなビューポイント構築。



#### ■ 具体的計画

- 指定管申請書にある、当公園の能力向上計画の進捗を診ながら、計画のブレ、追加変更等を検討し、計画をより具体的に推進できる指標を示す。
- 巨木管理（伐採と強剪定による再生維持管理）  
市街地とは隔離された「離宮」公園、設計者福羽氏の想いを継承した庭園維持目標に、樹高で仕切られ増え過ぎた緑の量、眺望の妨げなどを計画的に改善する。
  - 補植。その他施設改修  
開花リレー実現の為の、補植、移植、離宮公園出入口周辺のオープン化。本園→植物園出入口、及び園路沿い等の植栽、花壇の充実。専門園各エリアのビューポイントの強化。サイン表示リニューアルによる、ガイドスケート能向上の提案。



## 植物園開花リレー計画

### 現状の見所のレベルアップと連続した開花計画の策定

現状の植物園は、各専門園毎に見所を待っているが、本園からの流れ、また、植物園からの来園強化の為にも、各特長により見所を増し、四季を通してそれらを連続性を持って回遊できる開花リレーを計画し、植物園の活性化につなげる。

#### 見所充実策の考え方

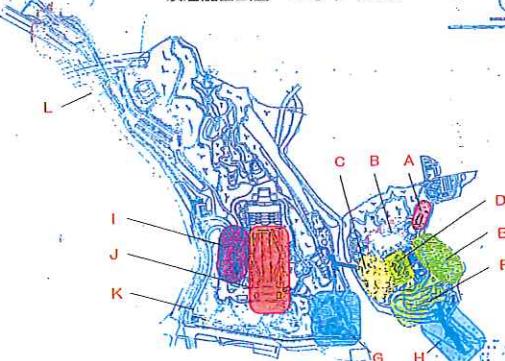
- 見所シーズンの来園者増加に繋がる策
- 見所改修・増設による新規来園增加策
- オフシーズンを巻上げする、開花展示実

#### 具体策

- 植物園各園の専門度向上  
植物・草・鑑賞度のレベルアップ
- 人気樹木や季節のエリア建設  
春の桜や花壇などの充実
- 夏季・冬季の園を彩る、開花リレー  
夏の花木、花壇等の充実

植物園開花リレー計画		花の見所	花の見所	花の見所
A	花の庭園	+++	+++	+++
B	花の広場と三段滝	+++	+++	+++
C	みどり滝とボタン園	+++	+++	+++
D	和洋園	+++	+++	+++
E	さくら園	+++	+++	+++
F	あじさい園ともみじ	+++	+++	+++
G	花しょうぶ園	+++	+++	+++
H	東門周辺	+++	+++	+++
I	本園中央広場	+++	+++	+++
J	本園噴水広場周辺	+++	+++	+++
K	本園鳥道・展望台	+++	+++	+++
L	本園駐車場・入団周辺	+++	+++	+++
	植物園開花リレー計画	+++	+++	+++

須磨離宮公園 エリア MAP



## 2. 巨木管理による景観改善

### 2-1 巨木管理の課題と改善策

巨木管理は、現指定管の結果向計画では200万/年で誤認対応の計画を挙げているが、今提案では、具体的な状態調査の結果を受け、より具体的な計画を優先順に提案する。また、当巨木管理は、今期ばかりではなく常年的な予算化が必要であると考える。

#### 課題

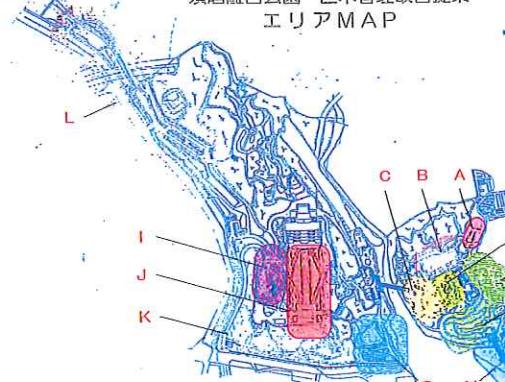
- 増え過ぎた緑の量
- 眺望を遮る樹高
- 来園者の利便性に支障
- 改修・維持管理予算枠の精査

#### 改善策

- 園内をエリア別し、伐採・剪定が必要な箇所の抽出する。
- 各エリアの優先度、各エリア内での優先度を整理する。
- 中長期計画を具体化して、予算化に合わせ実行する。

須磨離宮公園 巨木管理改善提案

エリア MAP

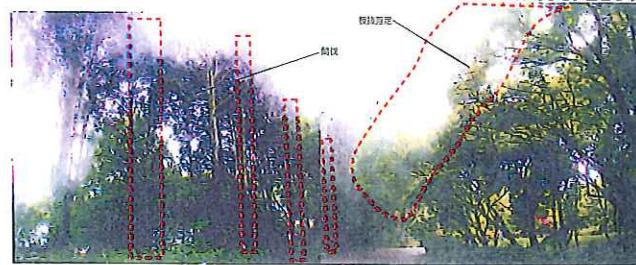


## 【附録会計】

エリア別巨木管理		段先済用	ランニングコスト(年々)
A	花の庭園	10	
1	剪定	約30~40本	
2	伐採		
B	花の広場と三段滝	4	
1	伐採	約5本	
2	剪定	約20本	
C	みどり滝とボタン園	5	
1	伐採	約2本	
2	剪定	約10本	
D	和洋園	7	
1	伐採	約5本	
2	剪定	約10本	
E	さくら園	12	
1	剪定	約30本	
2	伐採	約400m	
3	剪定	約30本	
F	あじさい園ともみじ道	3	
1	伐採	5本	
2	剪定	20本	
3	剪定	約20本	
G	花しょうぶ園	11	
1	伐採	約20本	
2	剪定	約20本	
H	東門周辺	2	
1	剪定	約20本	
2	巨木伐採・剪定	4本	
3	剪定	約10本	
I	本園中央広場	1	
1	剪定	約30本	
J	本園噴水広場周辺	6	
1	更新	約20本	
2	巨木伐採・剪定	約10本	
3	剪定	約1本	
K	本園鳥道・展望台	8	
1	鳥道台周辺剪定	約60本	
2	鳥道周辺剪定	約50本	
L	本園駐車場・入団周辺	9	
1	剪定	約20本	
	巨木管理合計		



ゾーン	数量	単位	金額	備考
C みどり端とボタン回				
巨木管理（伐採）	1	式		約2本
巨木管理（強剪定）	1	式		約10本



## 改善案

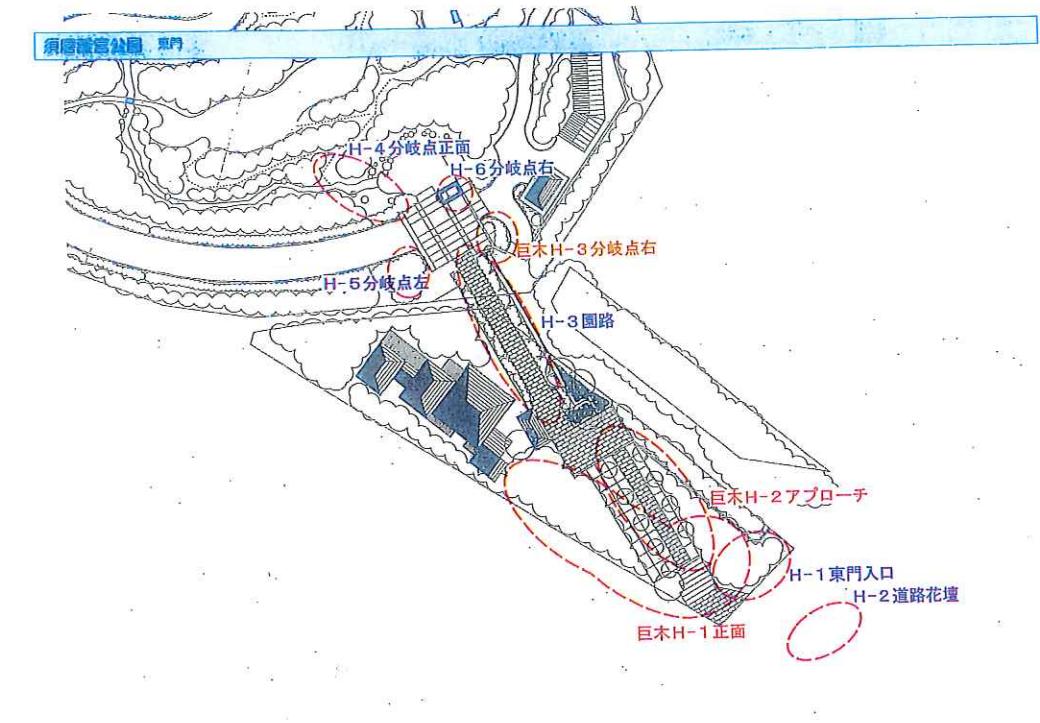
## 伐採

## 剪定・間伐・実生木伐採

- ① モミジ入り口のカスケード型がなく重かっているため雰囲気も悪くなっている。高生が少し残り説明看板になつていてもあ。
- ② 紅葉のライトアップなど自然の見景を楽しむ休みが行われている場所であるため、他の見景や・意味合いを考慮しながら剪定の方法と場所内を決める必要がある。

## 原稿

名 称	道 用	保 個	計 用	基 価	合 計	調 量
伐採	高木伐採	式	1		約3万(税込)	
強剪定	高木強剪定	式	1		約3万(税込)	
剪定	紅葉剪定	式	1		約2万(税込)	
小計		式	1			



## 巨木管理 H 東門周辺 H-2 アプローチ

H-2

改修前



改修後イメージ



改善策

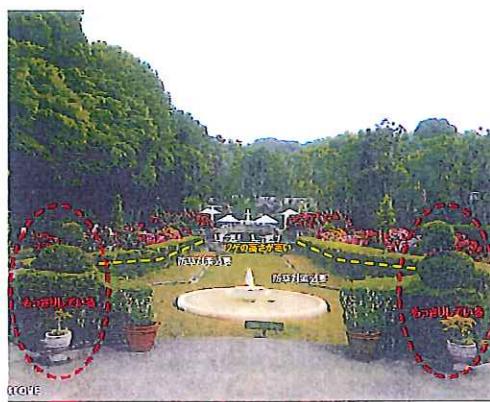
1. 高木が伸びすぎてしまい。
2. 高木が狭り園路が狭い。
3. 光が届きにくく、花物が咲きにくい。

項目	数量	単位	単価	金額
ケヤキ伐採採伐	4	本		
アプローチ花壇	1	式		
合 計				

## △ 花の庭園。。。整形式花壇の見直し

### 【課題】

ツゲが佔め上がりが過ぎて見苦しく、背が高いので圧迫感を感じる。  
ツゲの背が高いので入口や、東西に設置しているベンチからバラがよく見えなくなっている。  
ツゲ足元の砂利部分は、砂利とシートで防護してあるが効果が弱くなり簡単が良い。  
入口にあるトピアリーのエッジが剥いておらず、ちっさりしている。



### 【改善提案】

- ツゲを植え替え、高さを石碑みに統一。見通しをよくする。
- 足元にある土留や防草シートを撤去す。できるだけ大きい砂利を深く入れて草が生えないようにする。砂利の石は白を選択すれば、パラソルや噴水などの色合いが合い、明るい印象となる。
- 入口前のトピアリーは皆つくり込みをしてエッジを削りたせるか、新しいものに替え替える。
- 植え替える場合は庭園内のコニファーに指す、なおかつ既存のコニファーのくり込み・造形を併せて行うと美しい。

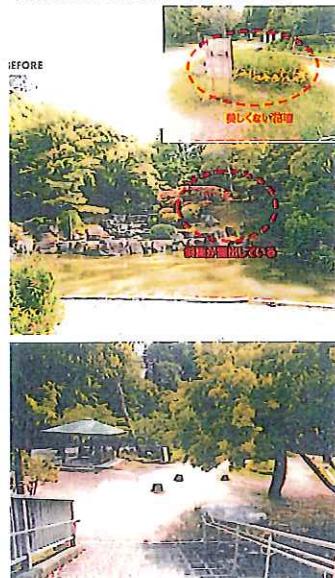


ゾーン	数量	単位	金額	備考
A 花の庭園				
☆3 根木撤去・植栽	1	式	2	
☆2 防草シート・砂利	1	式	1,2	
☆3 板石替換	1	式		

## C みどりの滝とボタン園。。。滝前桜。モミジ植植

### 【課題】

歩道橋から来た来園者は、樹木が邪魔になって園内を見渡せないため、迷路を見失う。  
広場からは苗木が剥離して滝が見えず、近付かないと思付かない。  
「みどりの滝」というほど、みどりが充実していない。  
持続が無く、見事な防護をしている。  
無用根やノカンソウ花壇の植生が中段半端で美しくない。



### 【改善提案】

- 歩道橋から来た来園者から広場が見えるよう、目線の軸を作ろう。
- 滝を見通せるように節約になっている低木を撤去。高木類の過かし剪定もあわせて行う。
- みどりの滝の前面がむぎだになってしまったところは、モミジなどを植えて緑意の充実を図る。
- 沢山のサクラが咲いている。そのサクラを活かして「サクラ回」位置付け、サクラを指揮する。
- のっなとした面でもない花壇は撤去を推奨する。無用が少々あります。

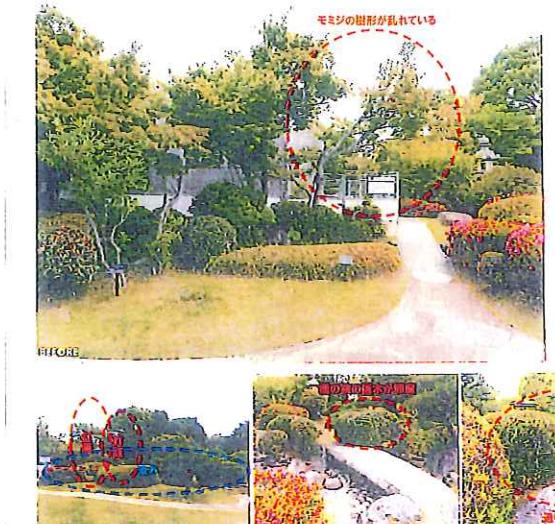


ゾーン	数量	単位	金額	備考
C みどり滝とボタン園				
☆2 低木撤去	1	式		
☆2 花壇撤去	1	式		
☆3 もみじ植え替	1	式		
☆2 低木地被植栽	1	式	?	
☆3 砂根	1	式		

## D-1 和庭園。。。低木の切り詰めとサルスベリ。モミジの植栽

### 【課題】

- 和庭園前のモミジの樹形が丸めで乱れている。
- 低木や中木が若すぎて、枯山水の存在を感じられず、灯籠が完全に見えない。
- 樹の後に低木は必要ない。伐採が必要である。
- 道の右側に低木は不要らしい。圧迫感があり、遙りにくい。
- マツ刈れを找探したまま、切り替をそのままにしている。



### 【改善提案】

- 和庭園前のモミジは伐採し、植え替えか別の品種に替える。
- 大木くなりすぎた低木や中木は刈り込んで小さくするが、他の樹木（例えはドウダンツツジ）に植え替える。
- 楊の抜き取り同様、障害となる低木は撤去する。
- 松枯れした所にはモミジを植えて、モミジを増やす、紅葉を楽しめるようにする。



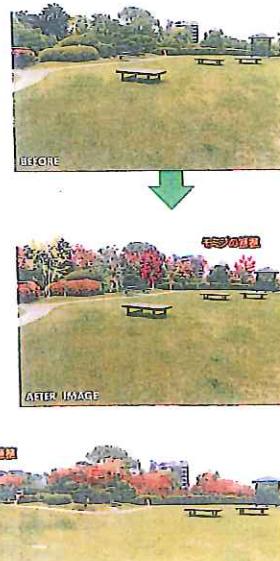
ゾーン	数量	単位	金額	備考
D 和庭園				
☆3 高木・低木撤去	1	式	2	
☆3 中木・低木植栽	1	式	2	
☆2 志張苔(苔土・苔風)	1	式		
☆2 竹垣・枝折戸	1	式		
☆3 もみじ植栽	1	式		

## D-2 和庭園。。。低木の切り詰めとサルスベリ。モミジの植栽



### 【植栽整理】

- 低木撤去・植え替え
- 竹垣・折戸
- モミジに植え替え



## 現状と課題

梅宮公園の待合では毎年「梅見合」が行われ多くの来園者が訪れる「梅見合」にまわるたび々な佐賀に行われる草やかな風である。

また、梅宮の西側に面した駐地でモロの時計が並み梅宮公園と住宅街の良い風を吹き抜けており、梅宮の花見合は草やかな風である。

その一方で来園者のマナーの低下、駐車場、歩道、木道など梅宮周辺の基盤が十分なものでない梅宮の背景や周辺の環境に色々できている。

モロの背景では梅宮を自らホタクするため住民とのトラブルを発生する傾向がある。梅宮の魅力を強化することで住みよい環境をを目指すことが肝要である。



## 改修計画

## 梅宮道路

## ロープ橋の設置



E-1. 梅宮園路改修

## 内部

## 園路・広場の設置



第1					
名 称	規 格	延 長	申 初	設 置	合 計
ロープ橋設置工	式	1			
表題設置工	式	1			
小 計	式	1			

目 項	ロープ橋設置工	約 400 m
表題設置工		約 40 m

梅宮園路 / 自由に移動地へ入ることができる状況

## 現状と課題

## 改修計画

梅宮北  
ウメ精裁

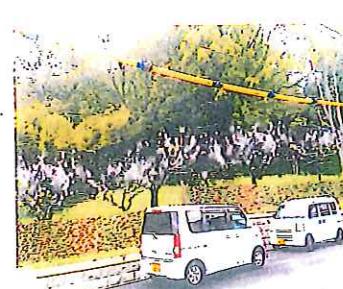
梅宮の入り口にはサルスベリが咲いているが、「梅見合」の開催が近くで行われていることもあり、ウメの花も見えることで京都市を魅了する役目を果たすようにする。

梅宮南  
ウメ・生垣植栽

黄生木を囲むし園路の斜面を流れながら、平地にせり出る木垣の花壇を計画する。木垣からなるのはもともと植えられた木垣材の花壇が公認。



梅宮園路 / 宅地との境界部分。



第2					
(待合室)	名 称	規 格	延 長	申 初	設 置
サルスベリ植造	高さ・深さ 一往復	式	1		
ウメ植栽	H.5m柱	式	10		
小 計	式	1			

目 項	サルスベリ植造	約 31 m
ウメ植栽		約 30 m

E-2. 梅宮拡張

## 花菖蒲園としての雰囲気作り



例えば、コナラを撤去して仕立松を植栽したり、また菖蒲園としての充実のためにアヤメの植栽をして南面の壁ももう少し際立たせて前面の植栽地にもアヤメを植栽して和の風情をもっと出して良いのではとご提案します



植栽
その他雑工・経費
計

G-2



現況写真



また、新池や水路が菖蒲園と隣接しているのを利用して、水路や池内に乱杭等で植栽場所を作成してカキツバタを植栽して、アヤメ、ショウブ、カキツバタを近くに植栽してアヤメ系植物園として楽しんでいただけるようにすれば、現在の約3週間のピークを2か月くらいに伸ばせると思います。

土留工
植栽
その他雑工・経費
計

G-3

## 補植

H 東門周辺 H-2 道路花壇

H-2



課題

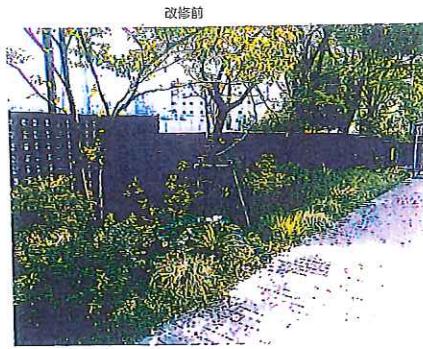
1. 芽草が茂茂。
2. 入口があることがわかりにくい。

項目	数量	単位	単価	金額
並列花壇	1	式		
合計				

## 補植

H 東門周辺 H-3 園路

H-3



課題

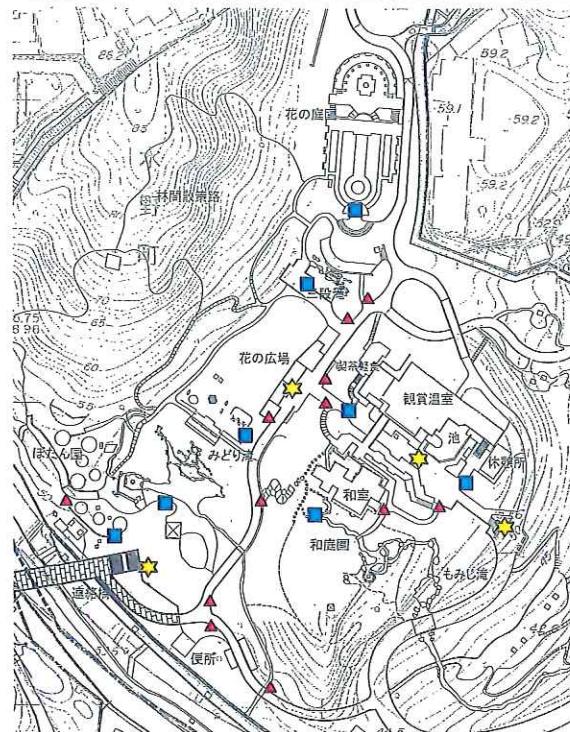
1. 線草が繁茂。
2. 回路の長さが楽しみにならない。
3. ヤマボウシが成長不良。

改善策

1. 低木、地被など性草とともに撤去。少し草やかさを加えた高根草中心の植栽に
2. レンガ調は歴史を感じさせる構造物として保存。樹名札の刷新
3. ヤマボウシは不適と見え、撤去。サルスベリヒトツバタゴ等に変更。

項目	数量	単位	単価	金額
回路花壇①	1	式		
合計				

## J サイン表示...全体的なサイン案内板、樹名板の統一



## 【サイン設置場所】

- 総合的なインフォメーションが必要な場所・・・・・・4箇所  
各割りエリのコンセントや、園内のイベント告知。  
全ての施設と共に在社を回答。
- 各施設のインフォメーションが必要な場所・・・・・・8箇所  
それぞれの施設の告知そのもの、歴史、見所、その施設のイベントや時季特設用語等、  
トイレの看板などのピクトグラムや、注意点も。
- 案内・話すサインが必要な場所・・・・・・・12箇所  
迷子が何處に迷っているのか、何メートルで周辺に目くらましをするライン、  
階段やスタートの看板、斜面の見えるなども書き入れる。
- 案内サインはおおよそ必要な数です。再現性による計画案によっては数値が細分化される場合があります。



多くのサイン計画は現状に現れながらも見やすさを追求しているものが多い。パンフレットを販売したり、バス停等ができる多様性、かつ色や文字の大きさ、デザイン等統一シンプルで共通性につながります。

## J. その他施設関係 (駐車場入口周辺)

ゲート両サイド(現状)



ゲート両サイド(改修案イメージ)



- ・他のゲートと統一感を持たせた植物をおこなう。
- ・低木、宿根草の植栽をベース（ナチュラル感じ）に。
- ・葉部の見栄えアクセントをつけて駐車公園の四季を演出する。
- ・看板・サインなどはできれば仕様を統一する。

項目	数量	単位	金額	備考	優先順位
既存樹木撤去	1	式	約160m <sup>2</sup>	★	
灌木及び下草類	1	式	約160m <sup>2</sup>	★	
合計					